

# 熊 事 研 会 報

第76号

平成16年10月4日

発行人 熊本県学校事務研究協議会  
会長 魚住 光二  
編集代表 研究部長 大岩真二  
〒868-0081人吉市上林町622  
Tel.096(369)2004 Fax096(331)1530

<今回の主な内容>

- ・吊辞
- ・第2回理事会だより
- ・近県研究大会概要
- ・大会分科会レポート紹介
- ・共同実施校に聞きま  
した
- ・地区紹介

## 高野弘幸先生のご逝去を悼んで

7月11日の朝、何気なく見ていた朝刊の中に「学校事務職員が事故」という文字を見つけて一瞬緊張しました。

それは、宇城地区・松合小学校の高野弘幸さんの交通事故死を伝える記事でした。「ついこの前の組合の会議で議長をしていた高野さんのことなのか?」「もし彼ならそんなバイク事故を起こすような無茶はしないだろうに?」と混乱した頭でしきりに「そうであって欲しくない」と願っていました。

しかし、その日の昼には組合からの電話や事務研からのメールで、高野さんのお通夜と葬儀の連絡が入り、とうとう間違いのないものとなってしまいました。

高野先生は天草での新採で、その後宇城に異動されたと聞いていましたが、何度か組合の会議で会ったり、数年前の宇城地区事務研にお邪魔したときにもお話したりしましたが、独特の飄々とした雰囲気を持たれた、物に動じない温和なタイプの人とお見受けしていました。

宇城地区事務研では研修部長として地区研のお世話をされたり、本務以外でも人権(同和)教育に関心を持たれ、教員とは違った面からの推進に活躍されていたりしていました。

また、私も参加しました7月28日からの全事研・高知大会には友人と参加される予定であったと聞き、何とも残念な気持ちになりました。

まだ47歳という年齢で逝ってしまうのは、如何にも早すぎます。  
やりたいことが沢山あったことでしょうか? 仕事でも、趣味でも、生活でも、夢でも。

高野先生は、もともと車が好きで、最近になって自動二輪の免許を取られ一人でツーリングを楽しんでおられたようで、休みの日には大分のオートポリスまで出掛けられるほどの熱中ぶりだったとか。

勤務日は一杯仕事を頑張っ、休みの日には思いっきり心も体も解放して好きなバイクを飛ばす...そんな男のロマンを求めた結果での事故であったとは思いますが、やっぱりすっきりとは納得いきません。

何があったのか? どうして転倒したのか? スピードはどうだったのか?

今となっては悔やんでも悔やみきれないことですが、残されました奥様と二人のお嬢様並びにご親族の方々に心から哀悼の意を捧げますと共に、私たちも車やバイクを運転している者の一人として、このような悲劇を絶対に繰り返さないようお誓い申し上げます。

高野先生、あなたが求められた学校事務像、あなたが目指された学校事務職員像を少しでも実現できますよう、私たち学校事務職員一同で頑張ることをお誓い申し上げましてお別れの言葉とさせていただきます。どうぞ、安らかに眠りください。

平成16年8月26日 熊本県学校事務研究協議会長 魚住光二

「高野弘幸先生 安らかに眠りください」

7月10日、高野弘幸先生が亡くなられたという知らせを聞いて、我が耳を疑いました。享年四十七歳 バイク事故により、卒然として不帰の客とされました。人の生命ははかないとはいえ、あまりにも突然の死にただ茫然とするばかりでした。

5月26日に実父を亡くされ、御会葬に参列しましたが、その数十日後に同じ場所で先生の遺影を見ることになるとは...、本当に残念でなりません。御家族のお悲しみはいかばかりかとお察しいたします。

先生は、これからの学校事務について真剣に考え、積極的に行動されておられました。そして、これまで宇城事務研の発展に大いに貢献されました。先生の残していただきました業績をわたくしたちは深く心に刻み、これからの事務研活動に努力していきたいと思ひます。また、今年の県事研大会での三角・不知火町事務研の発表に向けて、中心的存在であり、みんなで頑張っ発表に漕ぎつけようと、やる気をみせておられましたね。

春秋にとめる働きざかりの先生の急逝は、いまだ夢のごとく、現実とも思われません。ただただ、心から高野先生のご冥福をお祈りいたします。

宇城小中学校事務職員会会長 宮本 博文

「高野君との別れ」

7月10日、高野が交通事故で亡くなった。47才という若さで、まだこれからという時であった。趣味のオート

バイで大分のオートレース場へ向かう途中の事故であった。亡くなる数週間前に、宇城の事務職員研修会があり、休日に大分に走りに出かけていると話していた。その時、事故には気をつけるよう話したが、まさか、こんなことになるとは、考えもしなかった。

高野と私は、宇土高校の同級生である。高校時代は同じクラスになったことはなく、さほど親しい間柄ではなかったが、学校事務職員という仕事につき宇城に転勤してきて15年間付きあった友人である。

彼の人柄は、誠実で飾り気がない男であり、人から頼まれるといやと言わない、そんな男であった。宇城事務研では研修部長を長く務め、同和教育も個人的にしっかりと勉強を重ね、公私において皆から信頼される高野であった。

高野とは、よく一緒に酒を飲んだ。カラオケが大好きで、二次会はカラオケというパターンが多かった。そんな彼の、歌声や陽気な姿を二度と見れないと思うと残念でならない。7月28日～30日に高知市で、全国事務研が開催された。高野と私は一緒に参加する予定であった。参加の手続き、飛行機の手配等、全て高野が済ましておいてくれた。二人で高知の町を散策し、旨い酒を飲み、おおいに楽しむ予定であった。残念ながら、それもできなくなった。心の中に大きな穴が開いた感じがする。

高野が亡くなり1ヶ月以上が過ぎたが、今でも、高野から電話がかかってきそうな気がするし、パチンコをやっている時も、運転している時も、高野のことを考えたりする自分がある。この淋しさから逃れるには、しばらく時間が、かかりそうである。

今は、高野の安らかな眠りを祈るのみである。

「高野、仲良くしてくれて、本当にありがとう。しばらくしたら、そっちへ行くから、その時は、また一緒に飲もうぜ！」



砥用町立砥用中学校 古川 泉

## 第2回理事会だより

H16.9.

15(水)

於:水前寺共

済会館

朝夕はめっきり涼しくなってきました。会員の皆様にはお元氣でご活躍のことと存じます。さて今年度第2回目の理事会を15日に開催しました。11月10日(水)～11日(木)まで、第30回記念熊本県学校事務研究大会が開催されますので、県大会に関する内容が主なものでした。9時30分から、理事会、事務局、研究部の全員が一同に会して、県大会までの日程や、当日の準備等に関する話を話し合いました。11時から昼食時間を除いて14時20分まで、理事会が開催されました。14時30分からは第2回分科会運営会議がもたれ、会議の連続で忙しい一日でした。理事会では総会等について、また、県大会当日の役割分担等についてなど、いくつかの協議事項について話し合われました。以下、議事の概要についてお知らせします。

### 1 総会等について

(1)研究大会役割分担について

(2)ステージ設営配置図

例年の大会でも、大会行事時から前方の席がなかなか埋まらずに、来賓の方々に対し失礼な思いを与えることがありました。また、今年は午後は県教育長の講演も予定されており参加者の動向が気になる

ところでした。昨年同様今年も各地区から6～7名お願いしていただき、指定席を埋めていただくことになり

ました。会員の皆様方、各地区でお声がかかりましたときは、こころよくご協力いただきますようお願い

いたします。

(3)大会行事・総会行事について

(4)当日のタイムスケジュール(理事)

(5)定期総会議案書

### 2 役割分担等について(事務局)

(1)当日のタイムスケジュール

(2)具体的な業務内容とタイムスケジュール

### 3 役員の選出方法について

事務局員の選出方法については、平成14年度第4回理事会において、県北・県央・県南の3ブロックからそれ

ぞれ選出されることに決定されています。県南地区ブロックの4地区について担当年度の確認をしました。

#### 4 その他の協議事項

- (1) 標準的職務通知に向けての取組について  
関係団体にお話をしているところです。10月中旬位の予定で、各団体とのすりあわせをしていきたい  
思います。
- (2) 会長選考委員の選考について（第3回理事会終了後に第1回選考委員会を開催することに決定し  
ました。）
- (3) 全事研加入に関するアンケートについて  
会員に、全事研への組織加入問題についての意識調査を行うために「全事研加入に関するアン  
ケート」  
を10月30日締め切りで実施します。各地区理事がアンケート用紙を配布しますので、アンケート用  
紙に添  
付の、アンケート送付先まで、FAXにて回答くださいますようご協力よろしくお願いします。
- (4) 来年度の研究会日程
- (5) 来年度の研究会会場について  
今年度大会終了後に検討することになりました。

#### 5 その他

##### 第30回記念熊事研大会懇親会のご案内

熊本県学校事務研究会は、昭和50年の第1回大会から始まり、関係各位のご尽力によりまして、今年度は第30回という節目を迎えることができました。この30回記念大会を来賓、講師、助言者の方々もお招きし、大会1日目終了後に懇親会を計画しました。ぜひ、お誘い合わせの上ご参加くださいますようご案内いたします。  
各地区理事より、申し込み書が配布されますので、各地区理事あてにFAXにて10月12日(水)までにお申し込みください。

記

日時 平成16年11月10日(水)18:00～  
場所 鶴屋ホール横「つるやカーネーションサロン」  
会費 5,000円

### 県大会分科会の紹介です



#### 第1分科会「学校経営と学校事務」

第1分散会（市町村合併と学校事務）

##### 1 市町村合併＋事務職員＝迷走？

～市町村合併は私たちに何をもたらしたか～

発表：人吉・球磨地区

平成15年4月1日県内初の町村合併で誕生した「あさぎり町」を含む中球磨学校事務職員会では、旧五ヶ町村(上村、岡原村、須恵村、深田村、免田町)事務職員が直面した問題とその対応策についてレポートします。

これからますます進む市町村合併に向けて、私たちの取り組みを伝えることで、学校事務職員は合併とどう係わっていったらよいか協議できたらと思います。

##### 2 八代の市町村合併と学校事務

～要望書をとおして事務改善の取組～

発表：八代地区

平成15年7月にあった八代8市町村の合併協議会事務局からの説明をきっかけに、合併後の学校において少しでも事務改善へつなげるにはどうしたらいいかという事から、会員の意見をとりまとめ、それを「要望書」という形で合併協議会に提出し、それに対する回答も得る事ができました。また、合併とほぼ同時進行で進められている地域イントラネットについて、配置状況をはじめ学校現場で混乱している部分の打開策を模索しています。この2点について、合併する前に事務職員にできた一つの取り組みとして紹介するものです。成果の発表ではなく、取り組みの経過報告となる事をご理解ください。

## 第2分散会「学校経営と学校事務」

### 1 「熊本市学校財務取扱要綱」制定の経緯

発表：熊本地区

ある雑誌を読んでいたら次のような文章に出会いました。『制度の欠陥・不備を厳しく指摘していく、改めさせていくという努力が一つの階だとすれば、制度という他者のせいだけにしないで、どんな環境だろうと、「自分の生き方」を求めていくもう一つの階が大事ではないか』という文章です。「自分の生き方」を「学校事務のあり方」と言い換えれば、今の私たち学校事務職員の状況と重なる所があるように思います。

熊本市では前者について、学校財務取扱要綱を作ることを考えました。このささやかな実践報告をたたき台として、学校事務に係る制度の欠陥・不備とは、又、私たちの求める学校事務のあり方とは、について一緒に考えてみませんか？

### 2 「学校」事務を考える

～学校事務職員が学校で勤務していること～

発表：上益城地区

今回、この分科会では大きく二つの討議の柱を設定したいと考えています。

- ①学校事務職員が、学校で働いている事の意義を改めて問い直したい。
- ②「学校事務のアウトソーシング」・「共同実施」の問題をどうとらえていくのか。

私たちは、日々「標準的職務表」や校務分掌等にあらわれない複雑な「本務ではない本務」を行っています。その業務は職場の職員にも理解されにくい状況にあります。学校という組織が円滑に、当たり前に行うために必要な業務なのです。私たちの日頃の実態や問題点を出し合う事で「学校事務職員」の存在意義を確認したいと思います。また、①の思いを受けて、アウトソーシングや共同実施の問題をどうとらえていけばよいか、参加者の皆さんと論議を深めたいと思います。

## 第2分科会「教育条件整備」

### 1 よりよい教育環境づくりを目指して

～総合的な学習の時間への関わりと施設設備の改善をとおして～

発表：荒玉地区

荒尾玉名事務研では、会員を県事務研発表の柱に沿った3つの分科会に分けて研修をしています。今回は、その中の「教育条件整備」の分科会が発表します。この分科会では、総合的な学習の時間に関する事と、学校の施設設備の改善に関する事について研修してきました。その内容を報告し、現状と課題について話してみたいと思います。まず最初に、学校の施設設備改善について実践報告を行います。荒玉管内における施設設備の改善事例を紹介し、学校の施設設備の問題点や今後望まれる点について考えてみたいと思います。次に、総合的な学習の時間に係る条件整備についての実態調査ならびに実践報告を行い、この学習に対して事務職員が果たす役割について考えてみたいと思います。参加者みんなで情報交換し、楽しい会にしましょう。

### 2 教育活動を支援する事務職員からのアプローチ

～総合的な学習の時間と事務職員～

発表：宇城地区

三角町・不知火町地区では総合的な学習の時間と事務職員の関わりをどう考えていったらいいかを発表したいと思います。平成14年度から実施された総合的な学習の時間を三角・不知火地区では平成14年度の予算を補助金の形で申請し、予算が認められました。しかし予算措置をされても効率が良くなければ次年度へつながりません。それでアンケートを管内の事務職員対象に行い他地区の状況を調べました。そのアンケートの結果をもとにQC(品質管理)活動における問題解決の一つである特性要因図を作成し問題点を整理しました。これをもとにテーマである「～事務職員からのアプローチ」として何か出来ないかを考え、少しずつそれぞれの学校で実践を始めています。

## 第3分科会「事務改善」

第1分散会(学校経営への参画と事務改善)

### 1 学校経営への参画を目指した西原村の二つの取組

発表：阿蘇地区

西原村教研事務部会では、平成15年度に事務部経営案の作成と活用をテーマに掲げて研究と実践を行いました。その成果をまとめ、阿蘇郡の教育論文に応募して奨励賞をいただきました。その後事務職員部以外から「学校事務職員の共著による教育論文」への反響が大きくうれしい感想が多く寄せられました。今回ご報告するのは、事務部経営案を作成し、PDCAサイクルにのせ、それを更によりよいものにするための評価(自己評価・校長評価)を行い、自己意識の改革と私たちのレベルで学校事務職員が学校経営に参画するとは何か、を追い求めた実践報告です。また、西原村立小中学校3校では平成16年度から、学校事務の共同実施の研究も併せて行っています。ただし加配なしです。小規模ブロックでの地教委の業務を含めた事務業務の再編を目指して、西原村型共同実施について、推進状況等、途中経過をご報告できると思います。

### 2 頑張ろう！未来に翔る子どものために

～出産と育休について～

発表：鹿本地区

教育の鹿本では、今年度「出産・育児」の事務手続きに関する発表を行います。アンケートを取って、普段

から疑問に思っていたけど今更聞けないようなことを一問一答式にしたり、今まであった冷や汗の出した失敗談、育休体験者から聞いた不安なことなど浮き彫りにしました。

事務手続きに関しては、これさえあれば大丈夫という「出産に伴う事務処理ファイル」というソフトの紹介もします。

また、「出産・育児」に関する法改正の歴史を振り返ります。知っていて欲しいすぐ使えるパンフレット(職員配布用)もあります。鹿本はあなたの参加をお待ちしています。ぜひお越し下さい。

## 第2分散会(事務改善のための研修活動)

### 1 牛深市の初任者向け実務研修

～三人寄れば「旬」の知恵～

発表:天草地区

牛深市の事務職員会では、経験年数の少ない職員が多いため、以前から初任者向けの実務研修を行っています。平成13年度からは「個々の事務処理能力の向上を目指すテーマ研修」と「日常事務の確認」の2本の研修主題を立て、研修を行ってきました。そのひとつの「日常事務の確認」では、困惑した事務処理や日々のちょっとした悩みなど、まさに「今が旬」とも言える問題を解決するために、事務担当者会資料『旬』を作成してきました。この『旬』は、学校に一人しかいない私たち事務職員にとって、問題解決の場、意見交換の場としての役割を果たしてくれるとともに、とても親しみ深い、ためになる資料となりました。今回は、その3年間の『旬』の取り組みについて発表します。

### 2 事務連絡ノウハウ集の作成の取組について

～水葦事務研グループ研修より～

発表:水葦地区

今回は、第1グループからの「事務連絡ノウハウ集の作成」についての取り組みをレポートします。

私たち水俣芦北学校事務職員会では、今後も情報化社会の職務多忙の中、私たちにとって重圧にならない研究の取り組みと実務性のある内容をもって、継続的に各人が自主的で意欲的な研究を目指して取り組んでいこうと考えています。

今回は私たちの微々たる取り組みではありますが、水俣芦北地区で配付した資料を持参しましたので、各学校現場の事務を遂行する上で何らかのご参考になれば幸いです。



## 編集班たより

今年はたくさんの台風がやってきました。九州電力会社から特に離れている所に住んでいる事務職員が言っていました。「停電で電気が使えないと今の仕事ってほとんど出来ないよね・・・」と。確かにコピー機、パソコン、FAXなど今の世の中ほとんどの仕事を機械に頼っているような気がします。この話を聞いて、また同じような事があたらどうすれば良いか、自家発電機を買っておくべきか・・・などなど。皆さんはどう考えられますか？

先日、熊本県のH・Pを覗いてみました。県職員の採用についてです。学校事務職員の仕事とは？どのそうに書いてあるのかちょっとドキドキ。内容は？確かに採用されてから当たり前のようにやってきた事が書いてあります。でもちょっと首を傾げてしまいました。標準的職務って！？

ご覧になった事がありますか？来年のH・Pに載るのはあなたかも！？

アドレスはこちらです・・・

[http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/jinji\\_bosyu/home.html](http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/jinji_bosyu/home.html)

#### ☆ 熊本県のH・Pからの行き方

- 採用案内(左下にあります)
- 熊本県職員募集ガイド
- 職務内容

## 「共同実施校に聞きました！」(PART1:画図小)



「共同実施」という言葉を聞けば、学校事務職員は誰でも反応し、興味をかき立てられます。その欲求に答えるべく、熊事研では、県内の「共同実施」を実施している学校の取り組みについて、会報でお知らせすることとしました。記念すべき1回目は、熊本市立画図小学校の藤川先生に「共同実施」について質問をぶつけてみました。

Q1: 共同実施校の指定を受けたのはいつからですか？

A 1 : 平成15年度からです。本年度で2年目になります。

Q2: 画図小学校と共に共同実施を行っている学校はどこですか？

A 2 : 連携協力校として出水南小学校と出水南中学校の2校です。

なお、熊本市では画図小学校も含めて6校6名の加配となっています。

Q3: では具体的にうかがっていきます。全国の共同実施校をみると、「学校予算の一元化」や「教育活動の支援」など様々な取り組みがありますが、画図小を含む共同実施校ではどのような取り組みをされていますか？

A 3 : 熊本市の場合「学校予算の一元化」はちょっと無理のようです(詳しくは書けません)。主に「教育活動の支援」に力を入れています。

Q4: その取り組みについてのテーマはありますか？できましたらそれまでの経緯も含めてうかがいたいのですが。

A 4 : 別紙参照

Q5: では、そのテーマを念頭に取り組みを行われているわけですが、それを円滑に行うため、役割分担や実施方法などどのようにされているのですか？

A 5 : スタッフ制での役割分担というものはありません。主に加配事務職員が他の事務職員への事務支援に回るといった方法をとっています。

Q6: 取り組まれてみて、取り組む前の「知識としての共同実施」と「実際の共同実施」ではイメージが違いましたか？

A 6 : 共同実施についての知識は「学校事務誌」を読んだり、県大会や全事研、他県の研究大会に参加したりしていた程度です。まさか自分の身に降りかかってくるとは思っていませんでしたので、「月に2~3回拠点校に集まって、共同作業をする」といったような漠然としたイメージしかありませんでした。現在画図小学校ブロックでは主に加配事務職員が他の事務職員への事務支援に回るといった方法をとっていますので、最初に抱いていたイメージとはちょっと違っています。

Q7: それでは、取り組みの成果というか、メリットというか、何か学校にプラスになったことは感じていらっしゃいますか？

A 7 : 加配事務職員による事務支援の結果、それぞれの学校では仕事に余裕ができ、今まで教頭や教務が行っていた事務を事務室で取り組んだり、また学校徴収金の一元化に取り組んだりして、共同実施の効果が現れてきていると思います。その結果、「教職員と児童生徒がふれ合う時間の確保」が出来つつあるなど感じています。しかし、何せどれだけの効果があったのかなかなか数値化できないので……。

Q8: 逆に、課題はありますか？

A 8 : かつて姫路工業大学の清原正義先生は講演等で、事務の共同実施がうまく機能していない例として「丸投げ」という言葉を用いてこう述べておられます。

「県の教育委員会は市の教育委員会に丸投げをする、市の教育委員会は学校(長)に丸投げをする、最後に事務職員が非常に頭を悩ますというような形が少なくない」事務の共同実施を展開していくためには県の教育委員会、市町村の教育委員会の理解と協力、積極的な支援が必要不可欠であることは論を待ちません。

共同実施をスムーズに進めることができるようになるまで、これらの機関との話し合いに相当な時間と労力が必要でした。加配の趣旨から説明しなければならなかったのです。幸いにも熊本市教委のバックアップ(予算以外)が得られて共同実施の取り組みもスタートすることが出来ましたが、まだまだ関係する学校の校長をはじめ他の職員への認識は深まったとは言えない部分もあります。

Q9: 最後に、これからの展望も含め、まとめをお願いします。

A 9 : 今年度の目標がどこまで達成されるかわかりませんが、昨年よりも今年、今年よりも来年というふうにより市内の他の共同実施地区と連携しながら、一步一步着実に進めていきたいと考えています。また今後は熊本市以外の共同実施地区の状況も参考にしたいと思っています。

Q10: 藤川先生、お忙しい中、ありがとうございました。

別紙 平成16年度 画図小学校ブロック共同実施の方針

#### ○ 第7次教職員定数改善計画事務職員加配の目的

「きめ細かな学習指導や教育の情報化の支援等のため事務部門の強化対応を行う学校への加配」

#### ○ 画図小学校ブロック共同実施の目的

共同実施で様々な事務の効率化を進め、そこから生まれた時間を各学校での

事務改善に充て、  
教員が教育活動に専念できる環境を整える。

## ○ 具体的目標

### 1 組織的な学校事務の整備・構築

- (1) 加配事務職員による事務支援
  - ① 旅費事務の集中処理
  - ② 就学援助事務の集中処理(認定申請、辞退申請及び異動報告以外)
  - ③ 市費会計事務に係る帳票の作成
- (2) OJTによる事務職員の資質向上
  - ① 年末調整等事務の共同作業等
  - ② 旅費条例改正に伴う事務処理

### 2 きめ細かな学習指導の支援

- 教員の抱える事務の再配分 → 《教職員と児童生徒がふれ合う時間の確保》
- (1) 学校徴収金の一元化への取り組み → 《教員の会計事務等からの解放》
  - (2) 服務事務、教科書事務、転出入事務等を事務室で行う → 《教頭・教務を教室へ》

## 地区紹介

第1回は人吉・球磨地区です。

私たちが生活している人吉球磨地域は、熊本県の南部に位置し、九州の小京都と呼ばれています。名産物は、何とんでも球磨焼酎です。世界ブランドに登録されていて、その飲み心地は、二日酔いしないということで最高だと思えます。皆様も、何度も飲まれた事と思えます。地形は盆地で山ばかりですが自然環境には恵まれています。その他にも、温泉も有名です。各地区に様々な温泉施設がありますので、一度は入りにきて下さい。

さて、私たち人吉球磨学校事務職員会は、会員数は48名(小学校31名、中学校17名)です。男女の比率は女性の比率が高く、特に若い女性事務職員が増加中です。年齢構成は50代のベテラン組と20代の若者組がそれぞれ10名程度、その他は30～40代の中堅職員で構成されています。

会の組織はおおまかに研修部・調査部・研究部に分かれています。

研修部の仕事は各研修会の計画立案と実施です。一番大変な部だと思います。また、4地区(上球磨・中球磨・下球磨・人吉)での研修会も活発です。しかし、今年度から各地区研の研修会がなかなか実施しにくくなってきました。人吉市と中球磨地区は定例化されていて実施しやすいのですが、上・下球磨地区の研修会は学期に1回だったので今年度は実施が難しいようです。全体会の研修会も、今年度から年度初めと年度終わりの全体研修会(1日研修)が半日研修になりました。年度初めの5月の研修会も総会行事と研修会を半日でしなければならなかったのが大変窮屈な感じがしました。夏休み中の夏季研修会は2日間あり少しは余裕がある研修会ができました。

研修会の内容としては、実務に役立つ内容が主です。(年度末には異動事務等)夏季研修会の内容としてはパソコンでの研修が主になってきました。(パソコンを使った文書処理・旅費処理等です)その場限りの研修で終わらないように気をつけています。

研修部の役員は研修部長と研修副部長、別に各地区の会長、事務局長から成り立っています。

調査部の仕事内容は学校予算の調査が主ですが、その他にも様々な調査をします。調査部の一番の苦勞は、なかなか調査会等が集まらないことです。期限までに回答をもらおうと集計作業もスムーズにいくのですが…。毎年、恒例の教育費調査は人吉球磨の学校予算が一目で判り予算要求等に利用させてもらっています。その他にも、総合学習の予算調査(現金で受領できるか等)パソコンの設置状況調査・パソコンソフトの利用状況等の調査がありました。学校現場での利用が少ないのが残念です。サブは調査部長・副部長二人の少数精鋭で頑張っています。調査統計もパソコンで処理でき、楽の様子です。(但し、パソコンソフトを使いこなさなければの事ですが！?)

最後に研究部の紹介をします。研究部の主な仕事は事務職員会の活動記録を『くまんじむ』にまとめて2～3年に1回発行することです。活動内容を記録する事は非常に重要だと思います。研究部はまだ部が出来て日が浅いので活動する場もこれからだと感じています。

## 会の組織図

人吉球磨学校 事務委員会			研修部・・・各研修会の計画立案・実施等
			調査部・・・学校予算の調査等
			研究部・・・活動記録をまとめ、『くまじむ』発行（3年に1回）

人吉球磨には熊事研会長、県研究部長他、個性豊かなスペシャリストが多く、それぞれの分野で活躍されていますのでご期待下さい。

次回は八代郡市事務委員会の予定です。お楽しみに！

[会報トップページへ](#)